

いよいよ

新学期開始!!

心を新たに

高校学習の完成に

頑張ろう!

萬物みな新たなり

梅、早春を開く――

今年、東京教育学院は創立八十七周年を迎えます。創立以来、戦前・戦中・戦後と実に困難な時代を乗り越えての今日であります。その間、向学心に燃える学院生に強力な指導を行って、実に百四十余万人もの修了者を世に送り出して来ましたが、これが本学院の歴史・伝統と貢献であり、今後は更なる発展・進化に向かって学院の総力を上げて前進させる所存です。

1931年創立
東京教育学院
87周年記念

平成三十年度新学期開始!

学院生のみなさん!

高校学習の進度を速めよう――

梅香る時、新学期開始にあたり東京教育学院 在籍の学院生は、心を新たに
にして高校学習での進度を速めなければなりません。

現在、皆さんの後輩にあたる新年、新学期からの受講生がぞくぞく学習を
 開始しています。新学期といっても思えば年々毎年の連続で、新学期が来
 るのは当然のことです。しかも各年それぞれ多くの人々が希望を新たに
 して、自らの目的達成を願って入学するのですが、さて希望をよく実現でき
 かどうかということになると、なかなか難しいことではあります。

現代IT革命によってネット社会になり、情報機器スマホ等が異常使用
 される中、日本は少子高齢社会が進行し、また人生百年時代を迎えて、一億
 総活躍社会をとさげばれています。それには働き方・学び方の改革が必要と
 なりました。学び方改革とはこれまでの若い時での学習で一生を保たせる
 ことではだめで、生涯の学習が必要な時代となったのです。この生涯学習
 に最も適するのが通信教育学習であります。これらの上にたつてこの一年、
 どのようにして学習をやり遂げるか。さらに生涯どのように学習して行く
 か、この事によっては自らの一生を左右するかも知れないぐらいの気持ちに
 なって考え努力してほしいものです。どのような困難な苦しい時代になつ
 ても、学力・教養・資格は強い味方です。ではどのようにしたらよいか――
 第一に、学習・学問を志していることを、片時も脳裡から離さず、寸暇を
 割いて勉学の時間に当て、希望を達成させる努力を生涯すること。

第二に、学習の日課予定をたててそれを厳守すること。もしも、その予定
 が実行できなかったときは、速やかに、その欠を補うこと。一たびこれを怠
 ると習慣的になるので、絶対に怠つてはならないということ。

これらは当然のことのようですが、なかなか実行するのに困難なことでは
 あります。しかし、みなさんはどうかそれぞれ自分の現在を深く自覚し
 て、ここに平成三十年の新学期を迎えて、心を新たにし貴いこの一年をひた
 すら学習・学問に奮励努力されることを切に期待します。

東京教育学院 指導部